



# 都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園  
校長 井上 美保  
令和5年7月1日発行  
7月号



## 地域共生 新たな一歩

校長 井上 美保

先日、担当主幹教諭とともにヤマザキ動物看護大学に行ってきました。本校のエコロジーサービスコースが芝刈り機を使った除草作業をさせていただいたお礼とともに、コロナ5類への移行後、今まで自粛せざるを得なかった行事を復活させることについてのお願いです。コロナ禍でも部活動において、フットサルコートをお借りするなど、可能な範囲での連携を続けてきました。秋には従前に戻した形での学園祭にご協力をいただき、動物たちの参加による活動も予定されています。

本校が高等部就業技術科単独校として新たな形で開校してから、今年度で14年目となりました。既に1,000人を超える生徒たちが企業で働き、社会貢献を果たしています。前身である養護学校時代から、地域の皆様や関係機関の皆様に温かく支えられてきた歴史の中で、学校はここまで成長することができました。折に触れ、生徒の様子を見ていただき、校内での学習を般化させる場所を提供していただくなど、学習活動を支えていただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

障害があっても手だてを講じればできることが沢山あります。多くの成功体験や繰り返しの学習が生徒を大きく成長させます。これからも、地域や関係の皆様には、学校に足を運んでいただき、障害理解を深めていただくとともに、生徒たちには、社会に貢献できる能力があることを知っていただきたいと思えます。

生徒の学習の場である『cafe ひまわり』も、6月23日から一般の皆様方に開放し、営業を再開しています。カフェ入口の新たな看板やロゴマークは、卒業生がデザインし順次刷新していく予定です。校舎内にあるcafeであるからこそ味わえるレトロで落ち着いた雰囲気は、ニュータウンにふさわしい佇まいとなっています。専門的な職業教育を学ぶ場として、パンやクッキー、各種ドリンクを取りそろえ、生徒たちがお客様をお待ちしています。

南大沢学園は、障害の有無にかかわらず、豊かに幸せに暮らせる社会の形成を目指して、地域共生の第一歩を力強く踏み出しています。



## 交流の機会実践の場

主幹教諭 小嶋 利信

コロナ禍では、活動が縮小せざるを得ませんでした。5月後半から、部活動の大会や地域の学校との練習試合など、校外で活動する機会が活発になってきました。本校の『職業に関する教科』においても、地域施設の清掃や公園花壇整備、Cafe ひまわりの営業など地域の中での活動が再開されてきています。すべての活動が授業で学んだことを発揮する、実践の場となっています。そのため、地域での活動はとても重要です。生徒が学び、積み上げてきたことを振り返ることで、新たな気付きに繋がり、自己を成長させる大切な機会となっています。

また、本校では、今年度から、地域の方々の協力を得て、7月14日(金)、15日(土)で、一泊二日の宿泊防災訓練を実施します。南大沢学園が所在する地域で活動されている、南大沢五丁目防災協議会の皆さんにご指導いただき、『災害時の対応について』グループワークを行います。実際の災害を想定して、その場の状況をイメージし、『自分は何をすれば良いのか』、『仲間とどのように協力すれば良いのか』、自己の考えや意見をグループで共有し、対応策をまとめます。この学びも、地域の皆さんの協力があるからこそ実施できることです。

様々な地域活動が活発になり、生徒にとって良い学習の場となっています。これからも、地域の皆さんと共に、学びを深めて行ければと思います。

※先日、一般オープンしました、『Cafe ひまわり』も地域に支えられて運営できるようになりました。

### ★Cafe ひまわり営業日★

水曜日・金曜日 12:30~14:00

※都合により変更になる場合があります。来店の際は、本校HPをご確認ください。

<http://www.minamioosawa->

[sh.metro.tokyo.jp/site/zen/](http://sh.metro.tokyo.jp/site/zen/)

